

APPEAL

発行者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年 2月26日
NO.20

昇進試験 B 発表！

努力した者が報われましたか??

2月15日より昇進試験 B の合否が通知されています。結果はどうでしたか？新人事賃金制度では「努力したものが報われる制度」などと宣伝され導入されました。ユニオンも同様に新しい制度を会社と同様「努力したもの・・・」ともてはやし組合員にも伝えられました。

ところで皆さん！今回の昇進結果はどうでしたか？伝え聞くところによると「やっと昇進できてよかった」「今回もダメだった」「次はなんとかなるだろう」など感想が出ていました。

新制度の「努力したものが報われる」を鵜呑みにするならば、昇進した人は「努力した人」できなかった人は「努力していない人」となります。本当にそうでしょうか？台検を訪れ総点呼で訓示を行う会社役員をはじめ、部長・課長などの偉い方々は「新幹線は JR 東海の屋台骨を支えている。その台車は 1 重系です。みなさんの努力のおかげで、無事故で安全安定輸送を続けている」旨の訓示を聞きます。

新幹線の安全安定輸送を支えているのは現場の社員だ！

その言葉の通り安全安定輸送を支えているのは、日々額に汗しハンマーやペンチを手にして検査・修繕業務に励む現場の社員であることは間違いありません。ならば役員や部長・課長の言葉を借りるまでもなく台検の現場で働く全社員が昇進するのが当たり前なことではないでしょうか？

ところで、昇進にはもっと近道があることを知っていますか？ユニオン関西地本の書記長は昨年「助役」に昇進しています。組合専従ですから当然にも主任レポートや知悉度その他レポートはありません。さらには QC や業研はもとより提案など一切行っていません。一体何が評価されたのでしょうか？しかも管理職！管理職と主任との年間の差額は最低で 160 万円ほどあります。当然経費は組合費から支給されています。

この現実をどう思いますか？

努力しても報われない賃金制度
昇進への近道は組合専従???

私たちは職場の声を訴えていきます！